

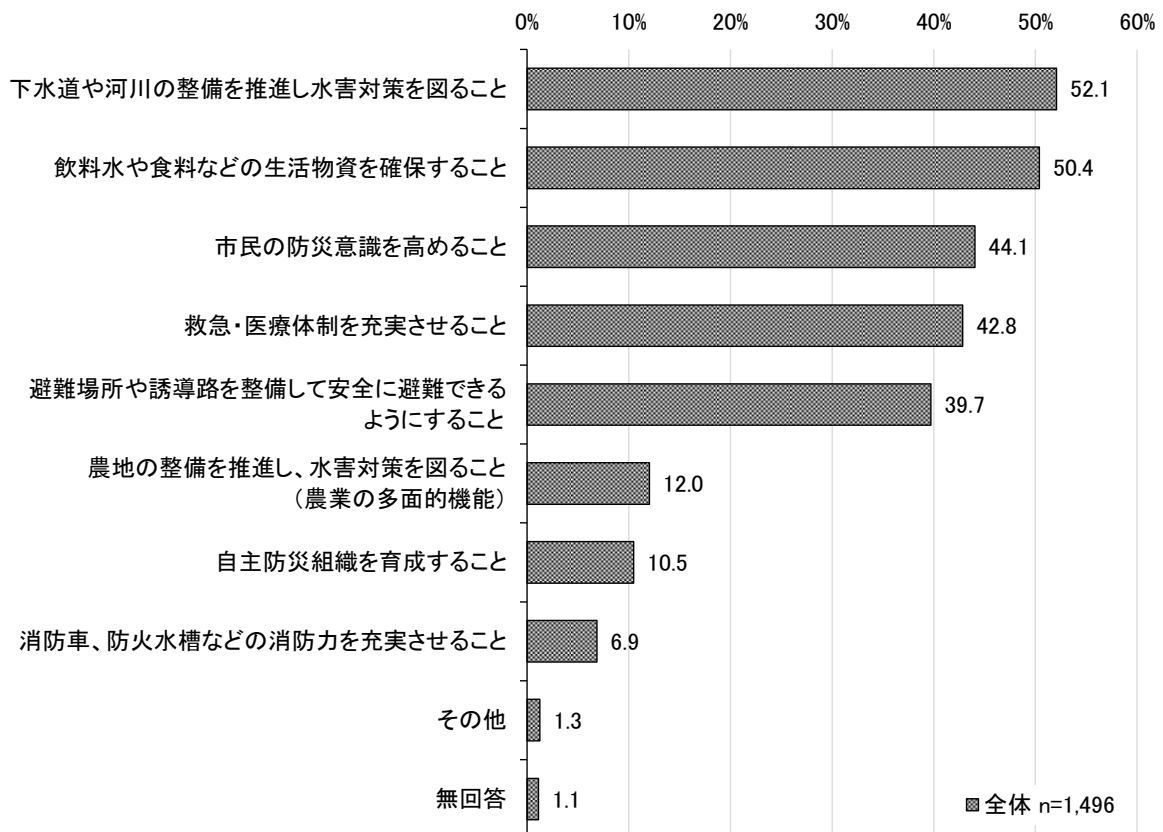
6 地域社会と市民生活について

(1) 防災対策として必要な施策

◇「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」が52.1%

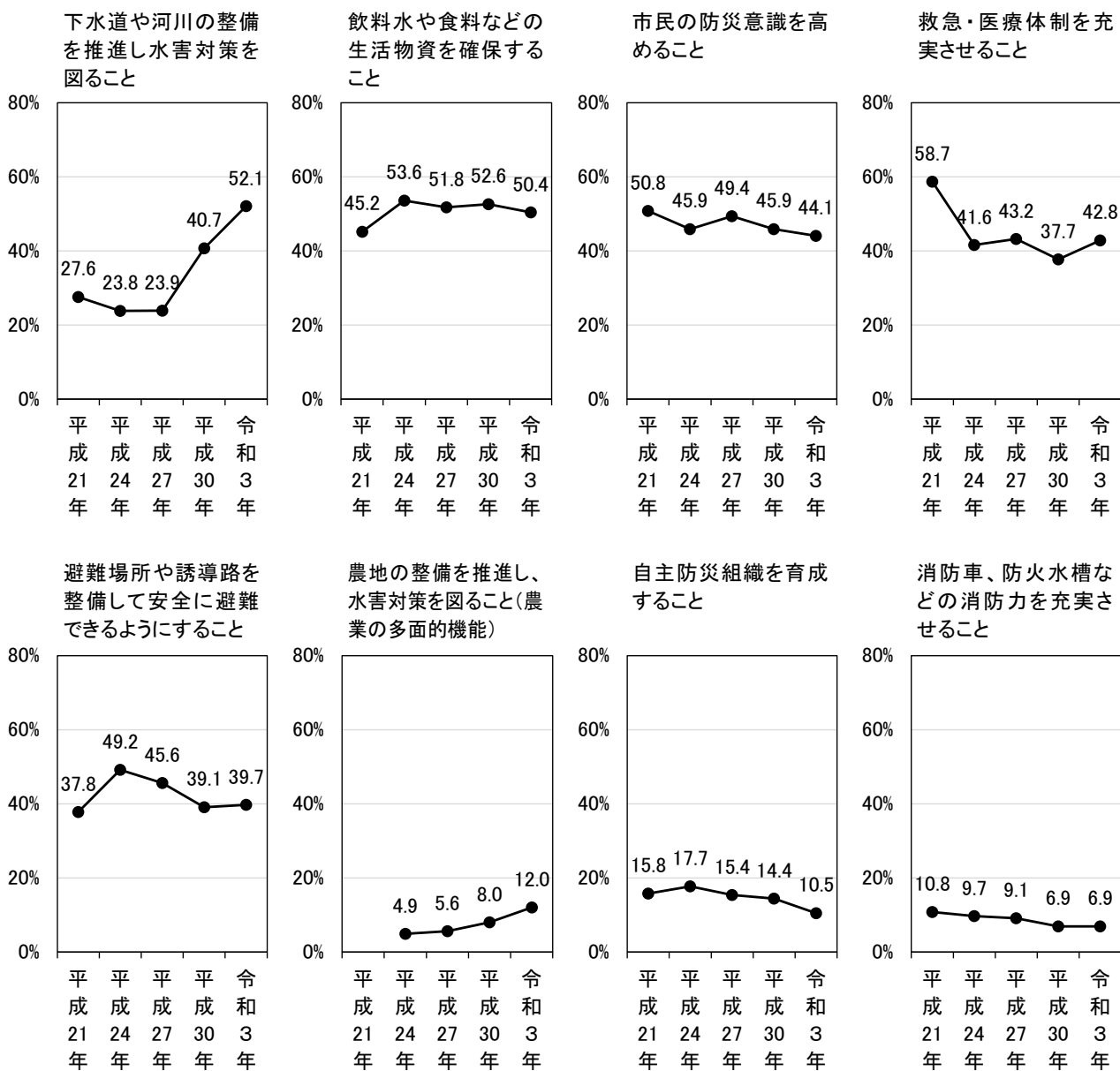
**問 43 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

防災対策として必要な施策については、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」が52.1%で最も高く、次いで「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」が50.4%、「市民の防災意識を高めること」が44.1%、「救急・医療体制を充実させること」が42.8%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は増加傾向となっており、前回調査より 11.4 ポイント増加している。また、「農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）」も増加傾向となっており、前回調査より 4.0 ポイント、平成 24 年と比べて 7.1 ポイント増加している。



※「農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）」は、平成 24 年から追加された選択肢。

■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は女性50歳代で6割半ばと高くなっている。「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」は女性20歳代で6割半ばと高くなっている。「市民の防災意識を高めること」は男性70歳以上で5割半ばと高くなっている。「救急・医療体制を充実させること」は女性60歳代で5割を超えて高くなっている。

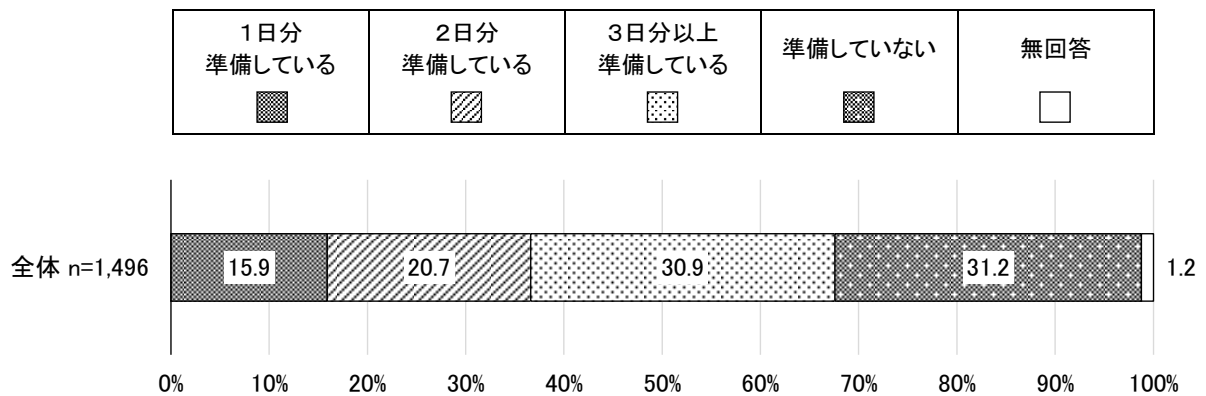
単位：%	下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	飲料水や食料などの生活物資を確保すること	市民の防災意識を高めること	救急・医療体制を充実させること	避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）
全体 n=1,496	52.1	50.4	44.1	42.8	39.7	12.0
【性別・年代別】						
男性 n=593	52.6	46.0	45.9	43.0	37.8	14.8
男性_18・19歳 n=4	25.0	75.0	25.0	25.0	100.0	25.0
男性_20歳代 n=67	46.3	55.2	47.8	34.3	44.8	14.9
男性_30歳代 n=85	54.1	61.2	41.2	43.5	35.3	12.9
男性_40歳代 n=121	57.0	49.6	43.8	38.0	33.9	14.0
男性_50歳代 n=95	45.3	40.0	46.3	47.4	38.9	10.5
男性_60歳代 n=101	54.5	42.6	39.6	49.5	38.6	16.8
男性_70歳以上 n=118	56.8	33.9	55.9	43.2	36.4	18.6
女性 n=874	51.7	54.5	42.9	43.2	41.3	10.0
女性_18・19歳 n=13	30.8	84.6	38.5	46.2	30.8	7.7
女性_20歳代 n=109	43.1	66.1	42.2	41.3	41.3	6.4
女性_30歳代 n=160	51.3	59.4	41.9	42.5	40.6	13.1
女性_40歳代 n=171	52.0	57.3	43.3	46.2	38.0	11.7
女性_50歳代 n=110	64.5	40.9	40.9	41.8	43.6	10.9
女性_60歳代 n=137	58.4	50.4	42.3	53.3	40.9	5.1
女性_70歳以上 n=172	45.9	50.0	45.3	34.9	45.3	11.0

(2) 水・食料の備蓄量

◇「3日分以上準備している」が30.9%

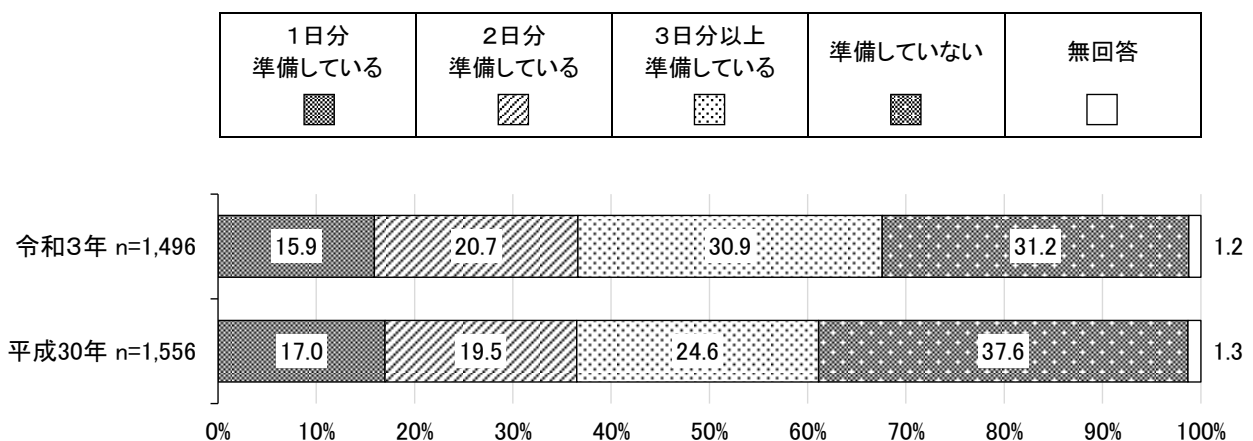
問 44 東日本大震災以降、個人で3日分以上の水や食料の備蓄が必要といわれていますが、あなたは何日分準備していますか。(1つのみ)

水・食料の備蓄量については、「3日分以上準備している」が30.9%で最も高く、次いで「2日分準備している」が20.7%、「1日分準備している」が15.9%となっている。なお、「準備していない」は31.2%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「3日分以上準備している」は前回調査より6.3ポイント増加している。なお、「準備していない」は6.4ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「3日分以上準備している」は男性40歳代、男性50歳代で4割と高くなっている。一方で、「準備していない」は女性20歳代で5割を超えて高くなっている。

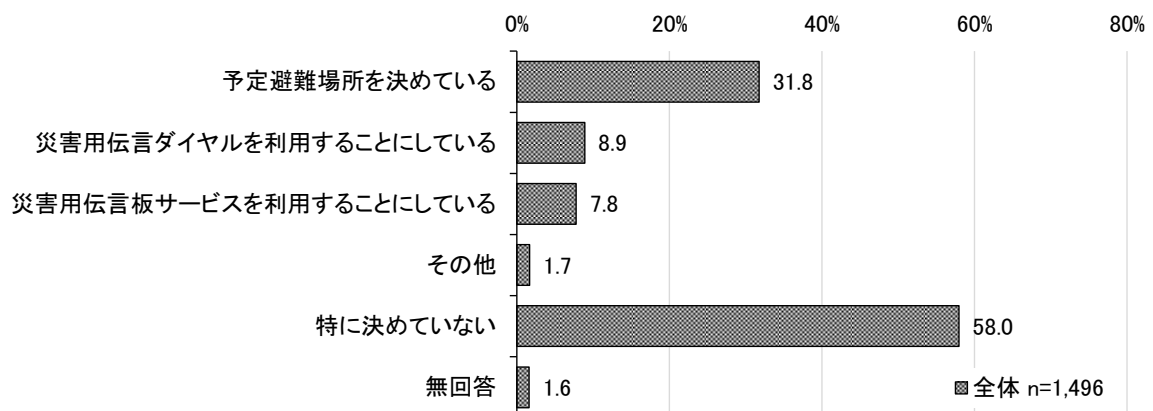
	1日分準備 している	2日分準備 している	3日分以上 準備している	準備して いない	無回答
単位：%					
全体 n=1,496	15.9	20.7	30.9	31.2	1.2
【性別・年代別】					
男性 n=593	14.7	17.0	34.6	32.7	1.0
男性_18・19歳 n=4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	13.4	11.9	26.9	47.8	0.0
男性_30歳代 n=85	20.0	15.3	25.9	37.6	1.2
男性_40歳代 n=121	13.2	16.5	39.7	30.6	0.0
男性_50歳代 n=95	13.7	12.6	40.0	33.7	0.0
男性_60歳代 n=101	19.8	20.8	34.7	22.8	2.0
男性_70歳以上 n=118	9.3	21.2	35.6	31.4	2.5
女性 n=874	17.2	23.2	28.6	30.1	0.9
女性_18・19歳 n=13	0.0	23.1	38.5	38.5	0.0
女性_20歳代 n=109	20.2	6.4	22.0	51.4	0.0
女性_30歳代 n=160	23.1	20.0	21.9	35.0	0.0
女性_40歳代 n=171	19.3	29.2	27.5	24.0	0.0
女性_50歳代 n=110	17.3	24.5	29.1	28.2	0.9
女性_60歳代 n=137	17.5	22.6	38.7	21.2	0.0
女性_70歳以上 n=172	8.7	30.2	31.4	25.6	4.1

(3) 家族等との安否確認手段

◇「予定避難場所を決めている」が31.8%

問 45 あなたは、災害が起きた際、家族等との安否確認手段を決めていますか。(いくつでも)

家族等との安否確認手段については、「予定避難場所を決めている」が31.8%で最も高く、次いで「災害用伝言ダイヤルを利用することになっている」が8.9%、「災害用伝言板サービスを利用することになっている」が7.8%となっている。なお、「特に決めていない」が58.0%となっている。



■性別・年代別

性別・年代別でみると、「予定避難場所を決めている」は女性30歳代、女性40歳代、女性70歳以上で4割近くと高くなっている。一方で、「特に決めていない」は男性20歳代で7割を超えて高くなっている。

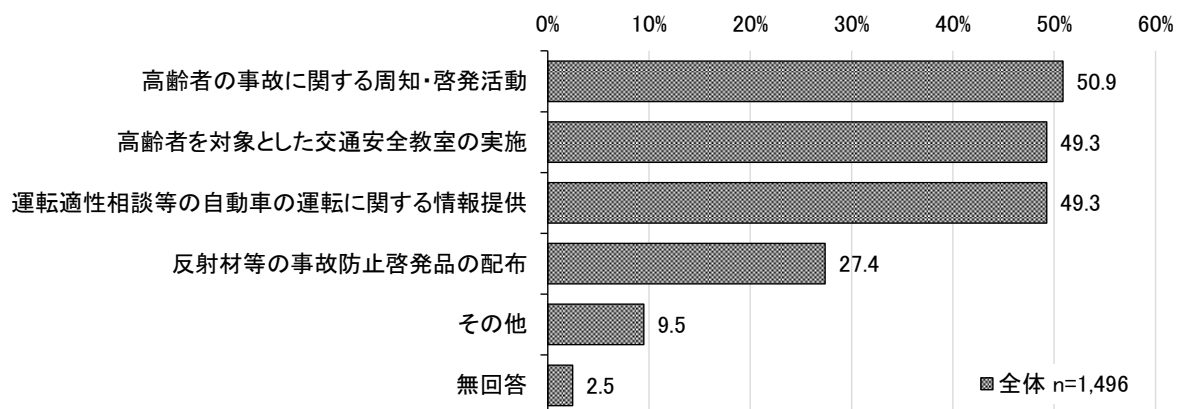
単位: %	予定避難場所を決めている	災害用伝言ダイヤルを利用している	災害用伝言板サービスを利用している	その他	特に決めていない	無回答
全体 n=1,496	31.8	8.9	7.8	1.7	58.0	1.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	26.1	9.1	8.1	1.3	63.4	1.0
男性_18・19歳 n=4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
男性_20歳代 n=67	19.4	1.5	6.0	0.0	73.1	0.0
男性_30歳代 n=85	30.6	4.7	5.9	1.2	62.4	0.0
男性_40歳代 n=121	24.0	6.6	8.3	0.8	66.9	0.8
男性_50歳代 n=95	24.2	11.6	13.7	3.2	60.0	0.0
男性_60歳代 n=101	26.7	13.9	9.9	2.0	60.4	1.0
男性_70歳以上 n=118	28.8	13.6	5.1	0.8	61.0	3.4
女性 n=874	35.7	8.7	7.3	1.7	54.6	1.7
女性_18・19歳 n=13	30.8	0.0	0.0	0.0	61.5	7.7
女性_20歳代 n=109	25.7	5.5	4.6	0.9	66.1	2.8
女性_30歳代 n=160	38.1	8.1	9.4	0.6	51.9	0.6
女性_40歳代 n=171	38.0	8.8	9.4	3.5	52.0	0.6
女性_50歳代 n=110	34.5	12.7	5.5	0.9	55.5	1.8
女性_60歳代 n=137	35.8	8.0	6.6	0.7	56.2	1.5
女性_70歳以上 n=172	38.4	9.9	7.6	2.9	50.0	2.9

(4) 高齢者の交通事故防止に必要なこと

◇「高齢者の事故に関する周知・啓発活動」が50.9%

問 46 あなたは、高齢者の交通事故防止に何が重要だと思いますか。(いくつでも)

高齢者の交通事故防止に必要なことについては、「高齢者の事故に関する周知・啓発活動」が50.9%で最も高く、次いで「高齢者を対象とした交通安全教室の実施」、「運転適性相談等の自動車の運転に関する情報提供」がともに49.3%、「反射材等の事故防止啓発品の配布」が27.4%となっている。

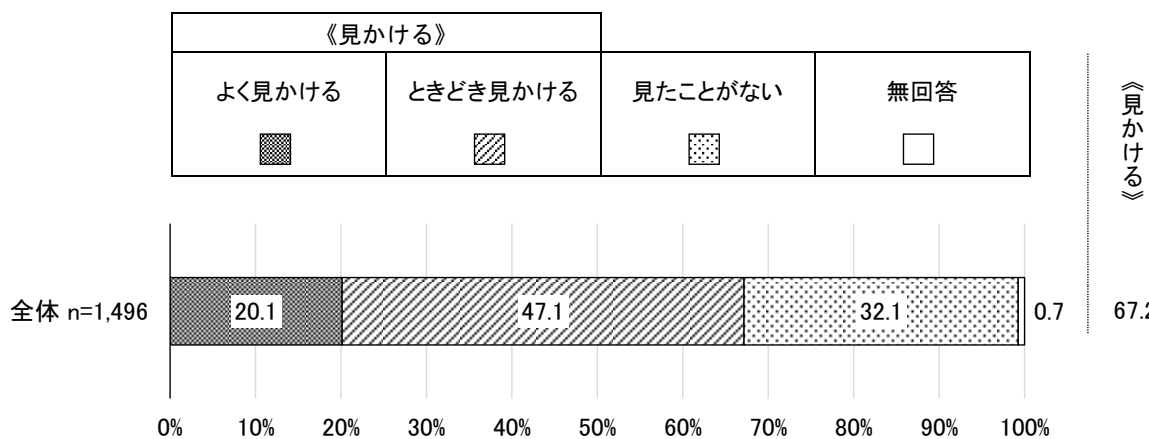


(5) 歩きながらスマートフォンを操作している人の状況

◇ 《見かける》が67.2%

問 47 あなたは、市内で歩きながらスマートフォンを操作している人が、危険な状況になったことを、実際に見たことがありますか。(1つのみ)

歩きながらスマートフォンを操作している人の状況については、「よく見かける」、「ときどき見かける」の合計値《見かける》が67.2%である一方、「見たことがない」が32.1%と、《見かける》が35.1ポイント上回っている。



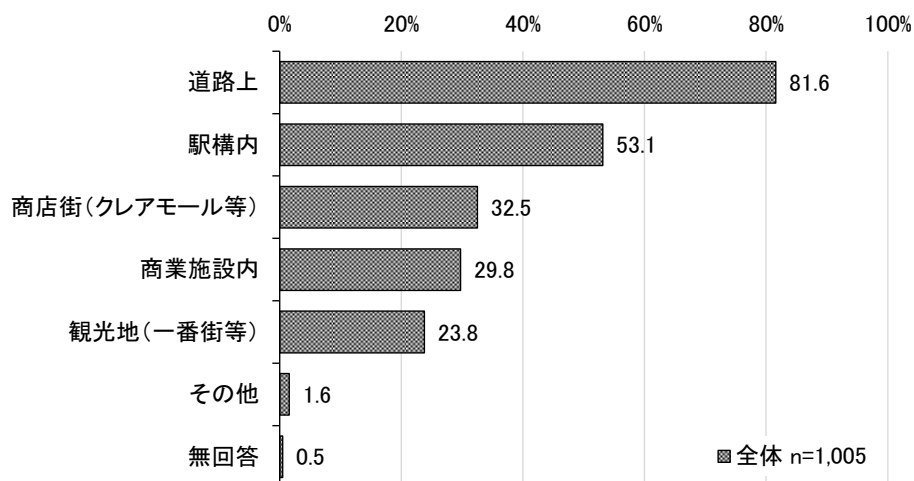
(6) 歩きながらスマートフォンを操作している人を見かけた場所

◇ 「道路上」が81.6%

【問 47 「よく見かける」「ときどき見かける」と回答した方におたずねします。】

問 47-1 どこで見かけたことがありますか。(いくつでも)

歩きながらスマートフォンを操作している人を見かけた場所については、「道路上」が81.6%で最も高く、次いで「駅構内」が53.1%、「商店街(クリアモール等)」が32.5%、「商業施設内」が29.8%となっている。

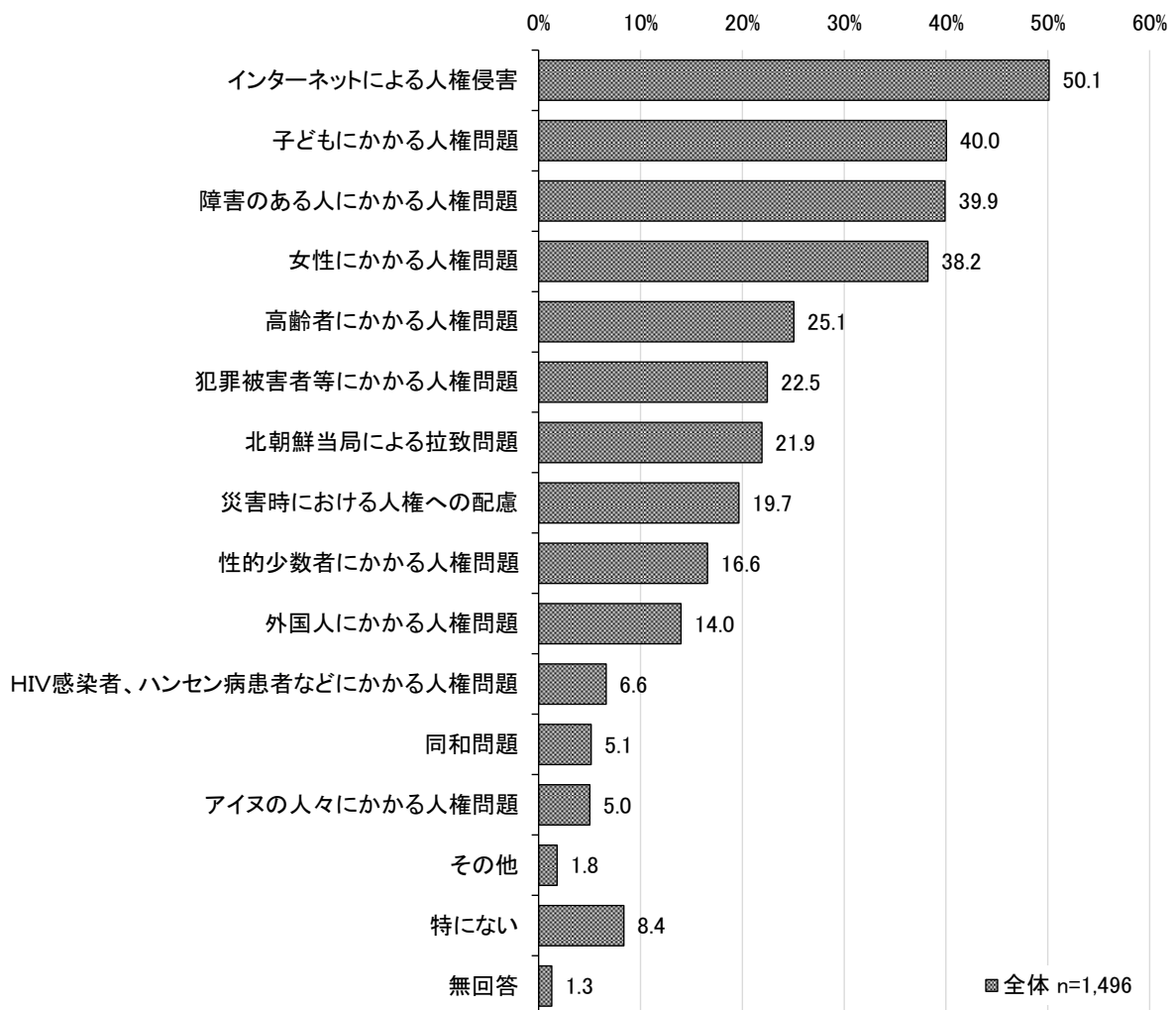


(7) 関心のある人権問題

◇「インターネットによる人権侵害」が50.1%

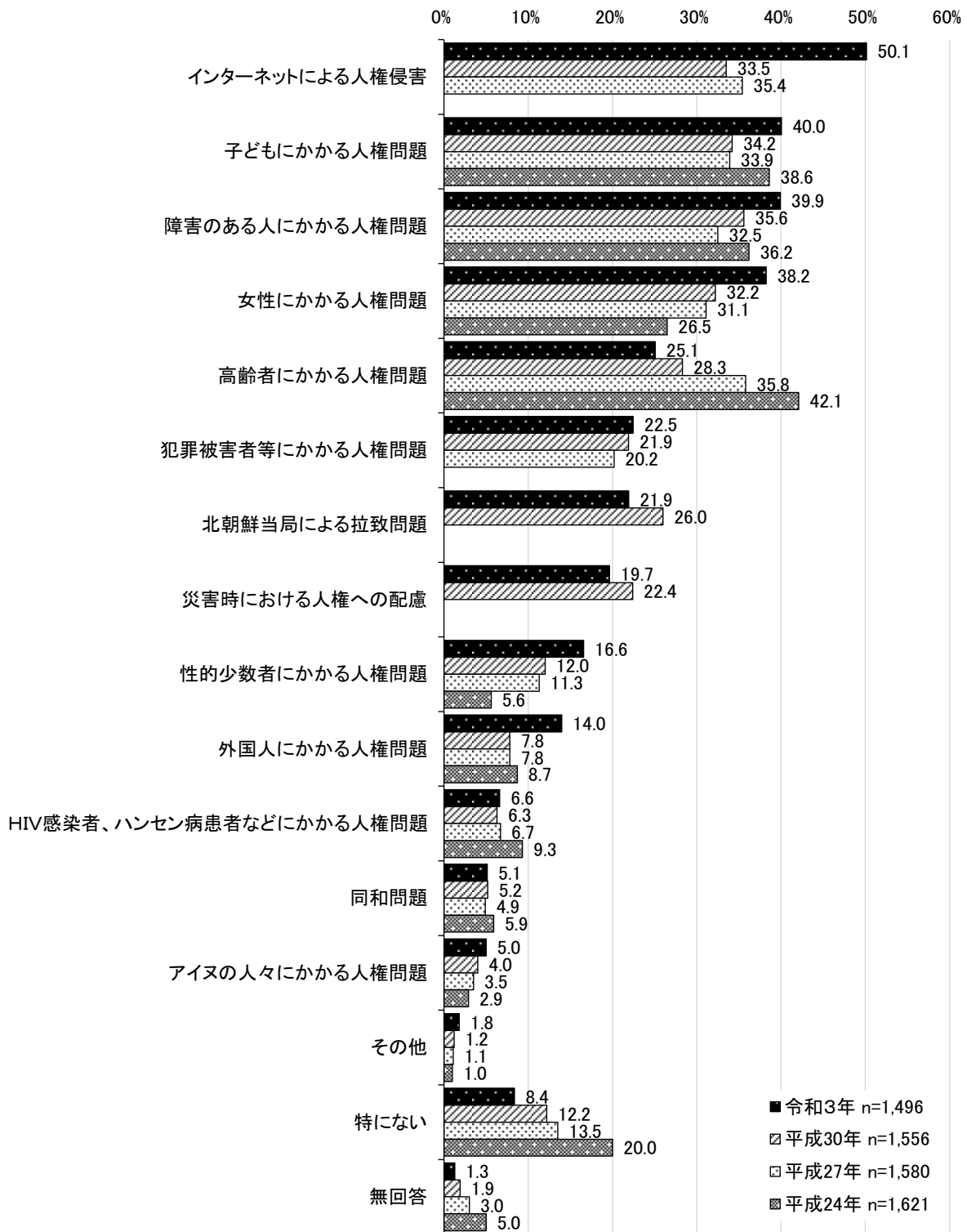
問 48 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあることは何ですか。(いくつでも)

関心のある人権問題については、「インターネットによる人権侵害」が50.1%で最も高く、次いで「子どもにかかる人権問題」が40.0%、「障害のある人にかかる人権問題」が39.9%、「女性にかかる人権問題」が38.2%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、前回調査より著しく増加している項目は「インターネットによる人権侵害」で16.6ポイント増加している。一方で、「高齢者にかかる人権問題」は減少傾向となっており、前回調査より3.2ポイント、平成24年と比べて17.0ポイント減少している。



※「インターネットによる人権侵害」、「犯罪被害者等にかかる人権問題」は、平成27年から追加された選択肢。

※「北朝鮮当局による拉致問題」、「災害時における人権への配慮」は、平成30年から追加された選択肢。

■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「インターネットによる人権侵害」は男性30歳代で6割近くと高くなっている。「子どもにかかる人権問題」は女性30歳代で5割を超えて高くなっている。「障害のある人にかかる人権問題」は男性60歳代、男性70歳以上で5割を超えて高くなっている。「女性にかかる人権問題」は女性の20歳代から40歳代で5割台と高くなっている。

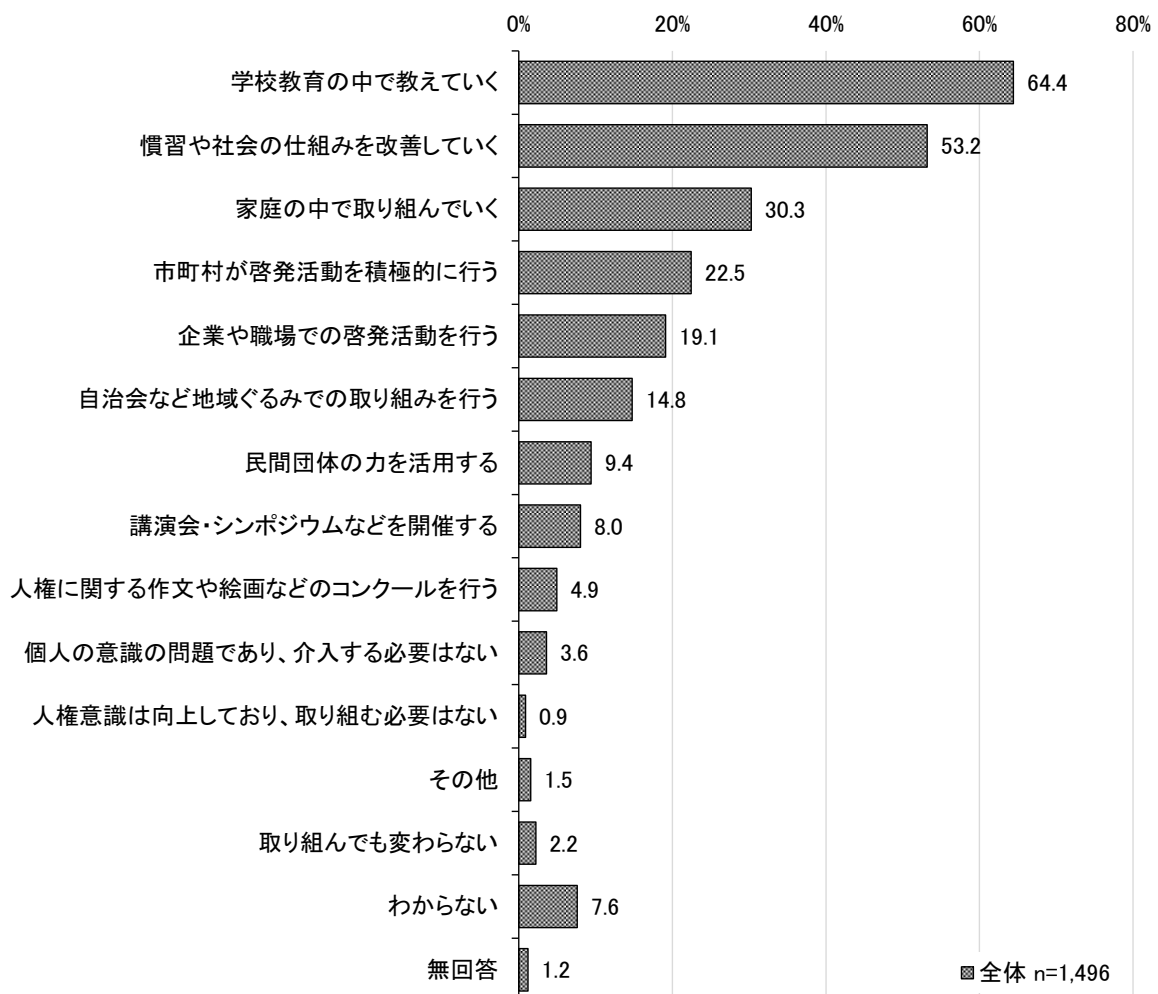
	インターネットによる人権侵害	子どもにかかる人権問題	障害のある人にかかる人権問題	女性にかかる人権問題	高齢者にかかる人権問題	犯罪被害者等にかかる人権問題
単位: %						
全体 n=1,496	50.1	40.0	39.9	38.2	25.1	22.5
【性別・年代別】						
男性 n=593	51.4	35.9	40.6	25.6	22.6	22.6
男性_18・19歳 n=4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	49.3	29.9	35.8	29.9	10.4	19.4
男性_30歳代 n=85	58.8	44.7	32.9	24.7	15.3	21.2
男性_40歳代 n=121	52.1	31.4	33.1	18.2	10.7	20.7
男性_50歳代 n=95	52.6	22.1	35.8	20.0	20.0	25.3
男性_60歳代 n=101	55.4	43.6	52.5	30.7	25.7	24.8
男性_70歳以上 n=118	43.2	42.4	51.7	33.1	46.6	24.6
女性 n=874	49.4	43.0	39.7	47.1	26.3	22.3
女性_18・19歳 n=13	53.8	38.5	38.5	30.8	23.1	30.8
女性_20歳代 n=109	48.6	45.0	40.4	59.6	13.8	16.5
女性_30歳代 n=160	52.5	53.1	35.0	58.8	12.5	20.6
女性_40歳代 n=171	53.2	46.2	41.5	52.0	19.3	26.9
女性_50歳代 n=110	49.1	37.3	41.8	46.4	29.1	26.4
女性_60歳代 n=137	49.6	41.6	40.9	38.0	35.0	23.4
女性_70歳以上 n=172	43.0	34.9	40.1	33.1	45.9	19.2

(8) 人権意識を高めていくために必要な取組

◇「学校教育の中で教えていく」が64.4%

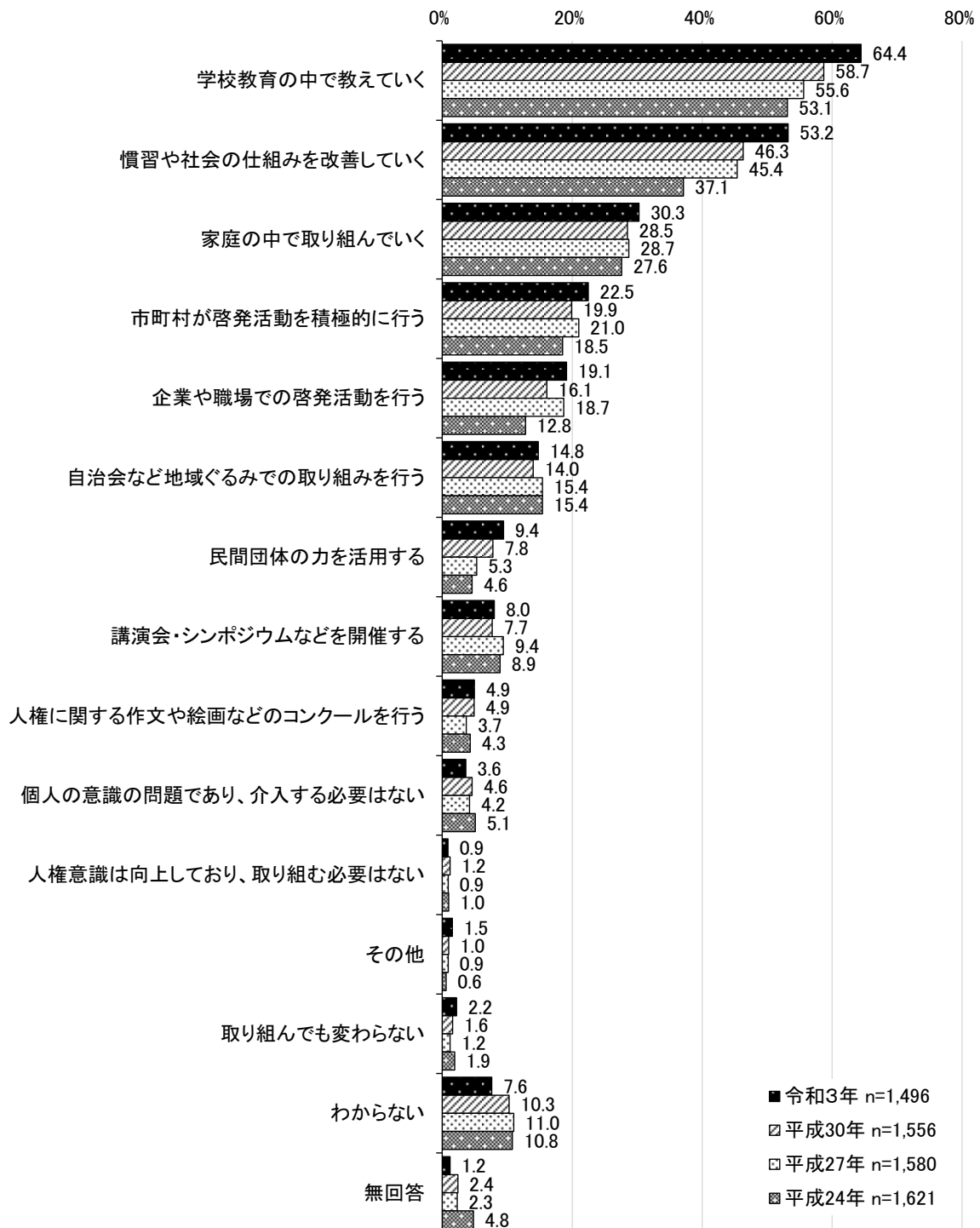
問 49 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(いくつでも)

人権意識を高めていくために必要な取組については、「学校教育の中で教えていく」が64.4%で最も高く、次いで「慣習や社会の仕組みを改善していく」が53.2%、「家庭の中で取り組んでいく」が30.3%、「市町村が啓発活動を積極的に行う」が22.5%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「学校教育の中で教えていく」は前回調査より 5.7 ポイント、平成 24 年と比べて 11.3 ポイント増加している。また、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は前回調査より 6.9 ポイント、平成 24 年と比べて 16.1 ポイント増加している。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「学校教育の中で教えていく」は女性30歳代、女性40歳代で約7割と高くなっている。「慣習や社会の仕組みを改善していく」は男性20歳代、男性70歳以上で6割を超えて高くなっている。「家庭の中で取り組んでいく」は女性30歳代、女性40歳代で4割近くと高くなっている。

単位：%	学校教育の中で教えていく	慣習や社会の仕組みを改善していく	家庭の中で取り組んでいく	市町村が啓発活動を積極的に行う	企業や職場での啓発活動を行う	自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う
全体 n=1,496	64.4	53.2	30.3	22.5	19.1	14.8
【性別・年代別】						
男性 n=593	63.9	55.8	24.8	22.8	18.5	14.0
男性_18・19歳 n=4	75.0	75.0	0.0	25.0	50.0	50.0
男性_20歳代 n=67	55.2	62.7	23.9	11.9	17.9	7.5
男性_30歳代 n=85	68.2	55.3	35.3	17.6	16.5	7.1
男性_40歳代 n=121	57.9	44.6	22.3	9.9	14.0	11.6
男性_50歳代 n=95	61.1	56.8	23.2	21.1	18.9	8.4
男性_60歳代 n=101	71.3	57.4	27.7	38.6	25.7	24.8
男性_70歳以上 n=118	67.8	61.0	20.3	33.1	17.8	19.5
女性 n=874	65.3	52.3	34.2	22.4	19.5	15.2
女性_18・19歳 n=13	84.6	38.5	15.4	15.4	30.8	7.7
女性_20歳代 n=109	66.1	50.5	34.9	17.4	23.9	11.0
女性_30歳代 n=160	69.4	54.4	38.8	15.0	20.6	10.6
女性_40歳代 n=171	69.0	57.3	37.4	21.6	22.8	15.2
女性_50歳代 n=110	61.8	58.2	34.5	24.5	17.3	11.8
女性_60歳代 n=137	62.0	53.3	32.1	30.7	20.4	18.2
女性_70歳以上 n=172	61.0	43.6	29.7	26.2	12.2	22.7

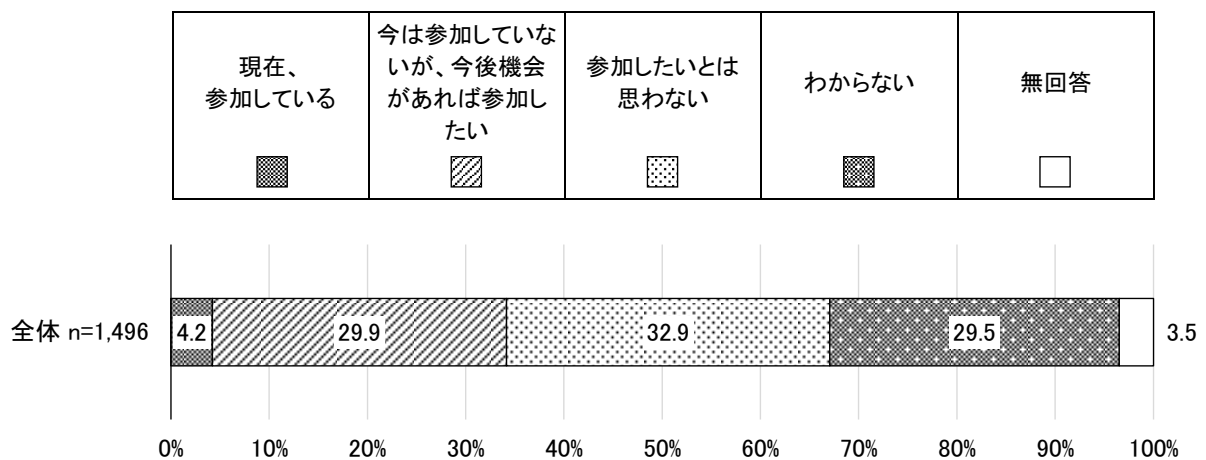
(9) 市民活動への参加意向

◇「参加したいとは思わない」が32.9%

問 50 あなたは、市民活動に参加したいと思えますか。(1つのみ)

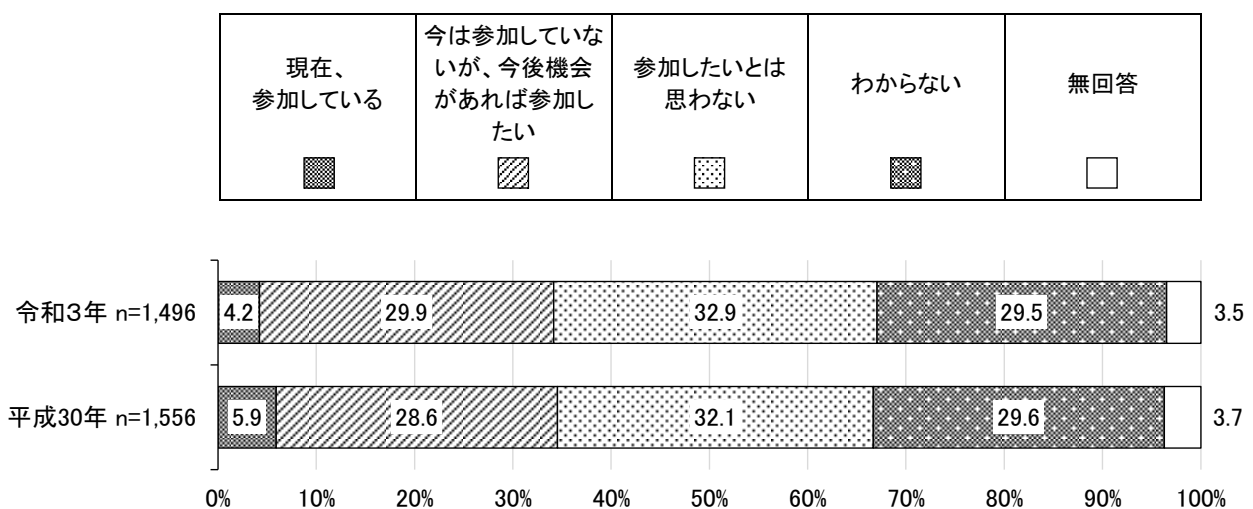
※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動（宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く）」を想定しています。

市民活動への参加意向については、「参加したいとは思わない」が32.9%で最も高く、次いで「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が29.9%、「現在、参加している」が4.2%となっている。なお、「わからない」は29.5%となっている。



■時系列での比較

時系列で見ると、「現在、参加している」は前回調査より1.7ポイント減少している。



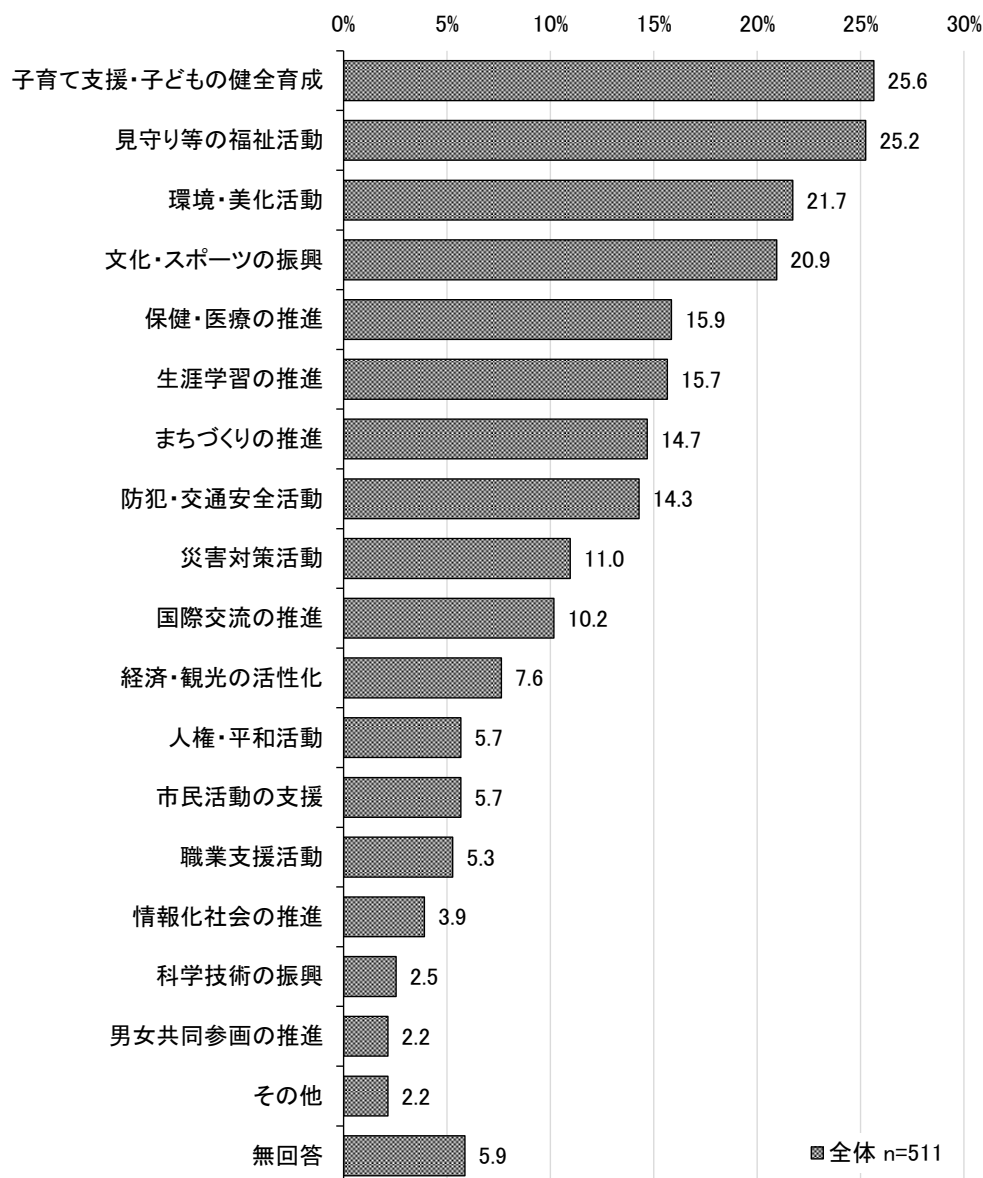
(10) 参加したい市民活動の分野

◇「子育て支援・子どもの健全育成」が25.6%

【問 50 で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。】

**問 50-1 あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野は何ですか。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

参加したい市民活動の分野については、「子育て支援・子どもの健全育成」が25.6%で最も高く、次いで「見守り等の福祉活動」が25.2%、「環境・美化活動」が21.7%、「文化・スポーツの振興」が20.9%となっている。



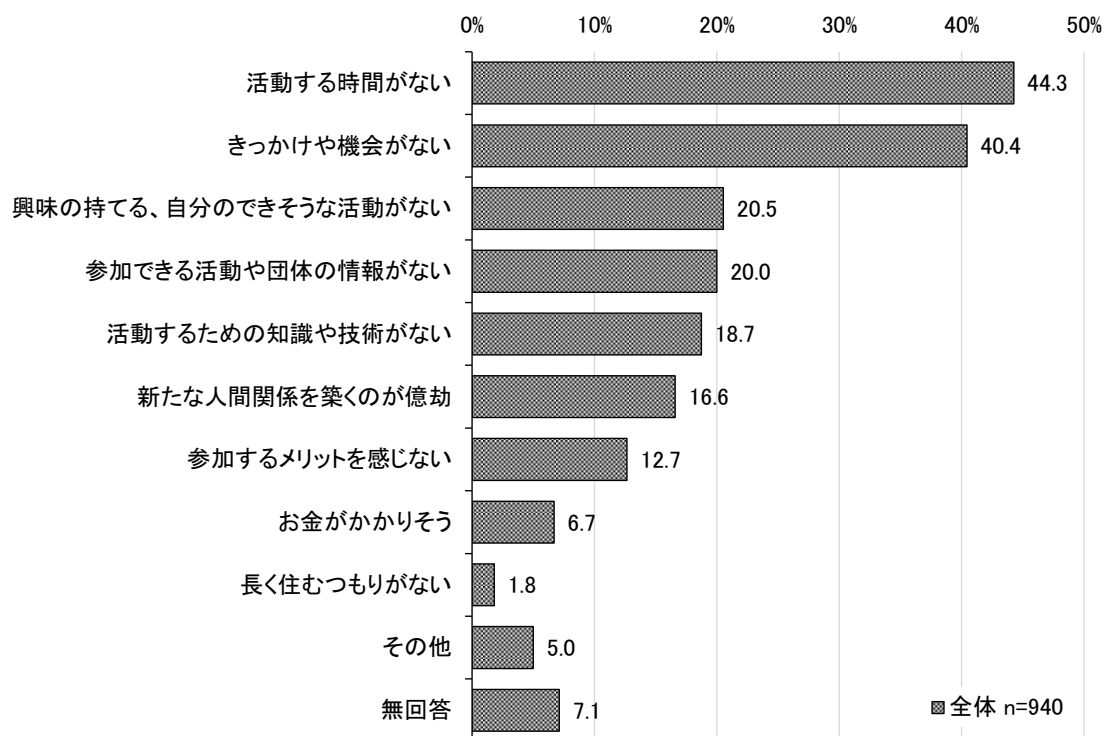
(11) 市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由

◇「活動する時間がない」が44.3%

【問 50 で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいとは思わない」と回答した方におたずねします。】

問 50-2 参加していない、または参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由については、「活動する時間がない」が44.3%で最も高く、次いで「きっかけや機会がない」が40.4%、「興味を持てる、自分のできそうな活動がない」が20.5%、「参加できる活動や団体の情報がない」が20.0%となっている。

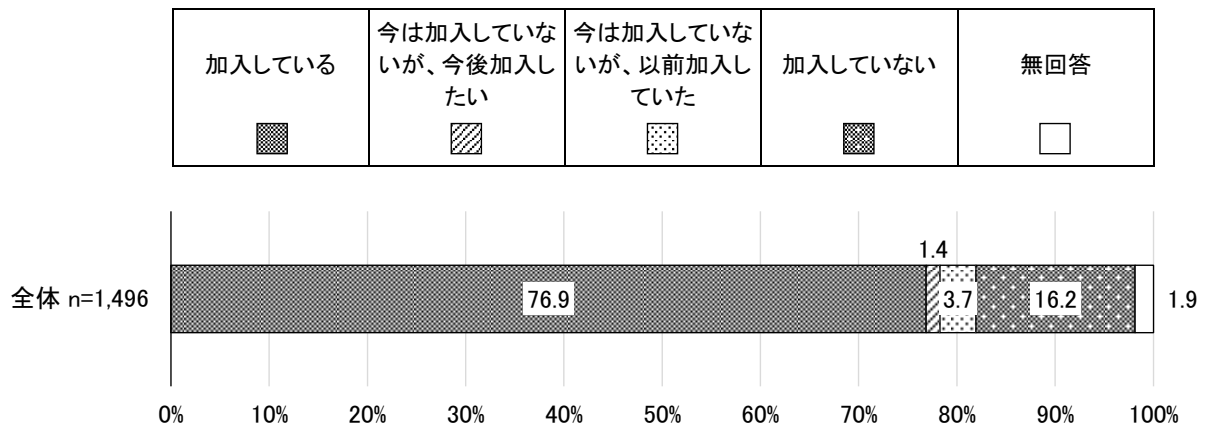


(12) 自治会への加入状況

◇「加入している」が76.9%

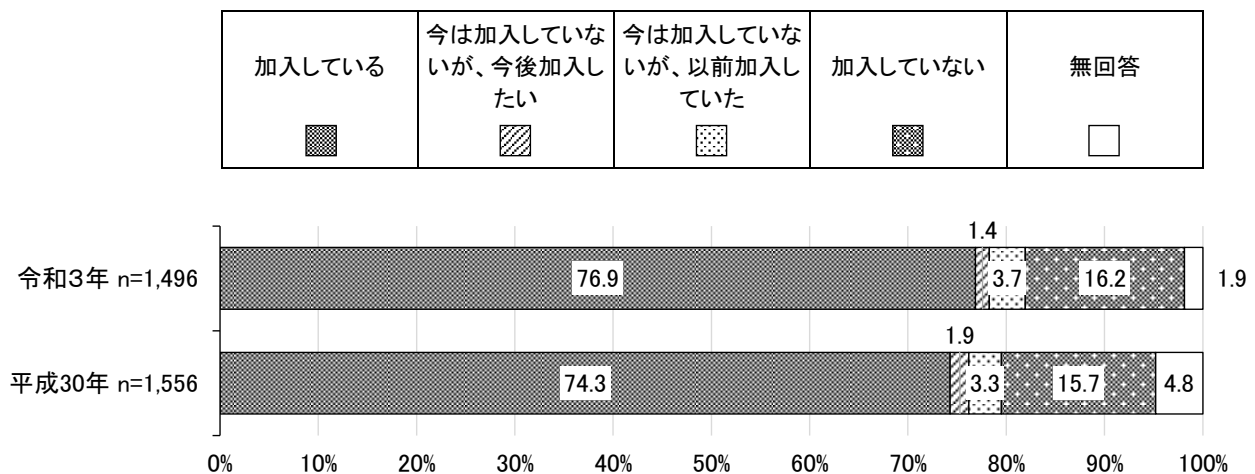
問 51 自治会への加入の有無について、教えてください。(1つのみ)

自治会への加入状況については、「加入している」が76.9%で最も高く、次いで「加入していない」が16.2%、「今は加入していないが、以前加入していた」が3.7%、「今は加入していないが、今後加入したい」が1.4%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「加入している」は前回調査より2.6ポイント増加している。



■年代別

年代別でみると、「加入している」は70歳以上で約9割と高くなっている。一方で、「加入していない」は20歳代で4割と高くなっている。

単位:%	加入している	今は加入していないが、今後加入したい	今は加入していないが、以前加入していた	加入していない	無回答
全体 n=1,496	76.9	1.4	3.7	16.2	1.9
【年代別】					
18・19歳 n=17	64.7	0.0	0.0	35.3	0.0
20歳代 n=176	54.0	1.7	2.3	40.3	1.7
30歳代 n=246	62.2	2.4	2.8	30.5	2.0
40歳代 n=297	77.8	0.7	5.4	15.5	0.7
50歳代 n=206	82.5	1.5	4.4	10.7	1.0
60歳代 n=240	88.3	1.3	4.6	4.2	1.7
70歳以上 n=291	90.7	1.4	2.7	3.1	2.1

■居住地区別

居住地区別でみると、「加入している」は『芳野地区』、『南古谷地区』、『名細地区』、『山田地区』で8割台となっている。一方で、「加入していない」は『高階地区』が22.2%で最も高く、次いで『本庁地区』が17.4%、『大東地区』が15.8%となっている。

単位:%	加入している	今は加入していないが、今後加入したい	今は加入していないが、以前加入していた	加入していない	無回答
全体 n=1,496	76.9	1.4	3.7	16.2	1.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	78.2	0.9	2.5	17.4	0.9
芳野地区 n=41	80.5	7.3	2.4	4.9	4.9
古谷地区 n=58	74.1	3.4	13.8	8.6	0.0
南古谷地区 n=135	82.2	0.0	3.0	10.4	4.4
高階地区 n=189	73.5	1.6	2.1	22.2	0.5
福原地区 n=78	74.4	1.3	5.1	15.4	3.8
大東地区 n=139	79.9	0.7	3.6	15.8	0.0
霞ヶ関地区 n=175	77.7	1.1	4.6	14.9	1.7
川鶴地区 n=75	78.7	1.3	6.7	12.0	1.3
霞ヶ関北地区 n=48	79.2	0.0	4.2	14.6	2.1
名細地区 n=100	83.0	0.0	4.0	13.0	0.0
山田地区 n=77	81.8	0.0	1.3	15.6	1.3

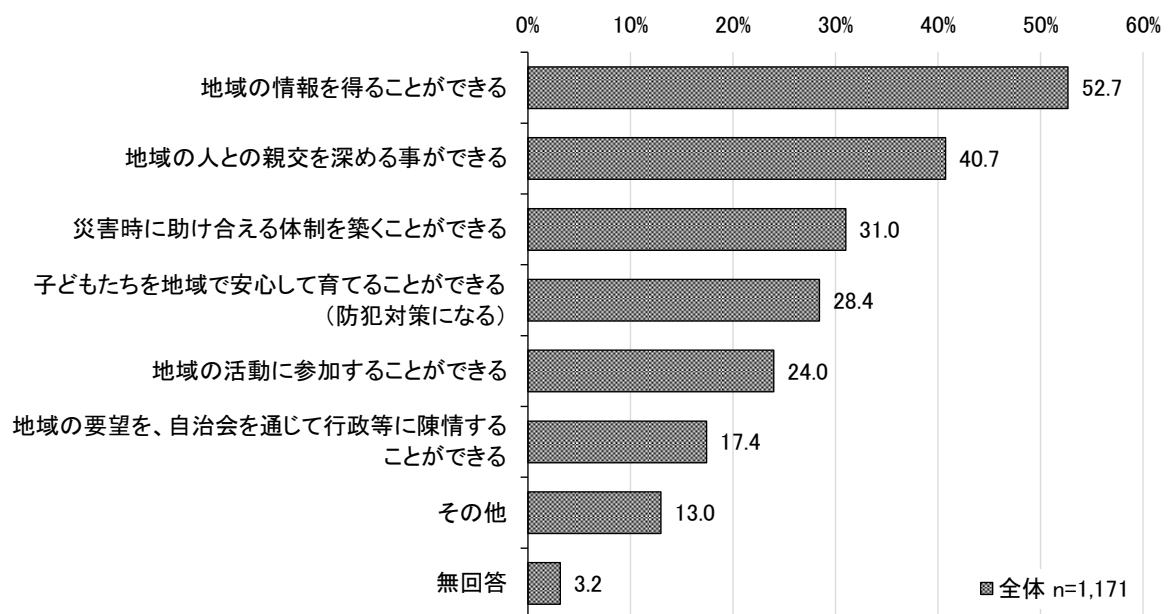
(13) 自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由

◇「地域の情報を得ることができる」が52.7%

【問 51 で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と回答した方におたずねします。】

**問 51-1 あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由は何ですか。
(いくつでも)**

自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由については、「地域の情報を得ることができる」が52.7%で最も高く、次いで「地域の人との親交を深める事ができる」が40.7%、「災害時に助け合える体制を築くことができる」が31.0%、「子どもたちを地域で安心して育てることができる(防犯対策になる)」が28.4%となっている。



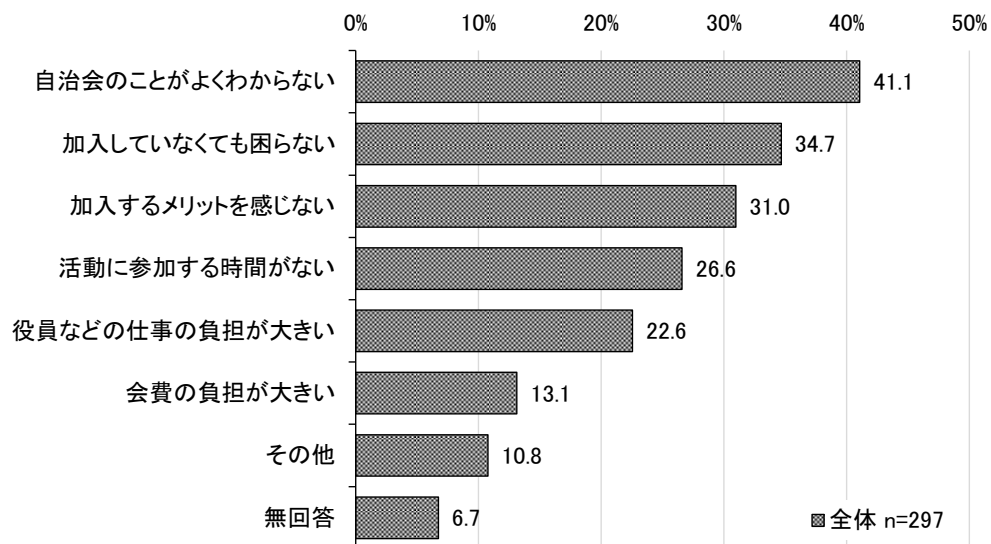
(14) 自治会に加入していない、加入したいと思わない理由

◇「自治会のことがよくわからない」が41.1%

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-2 あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

自治会に加入していない、加入したいと思わない理由については、「自治会のことがよくわからない」が41.1%で最も高く、次いで「加入していなくても困らない」が34.7%、「加入するメリットを感じない」が31.0%、「活動に参加する時間がない」が26.6%となっている。



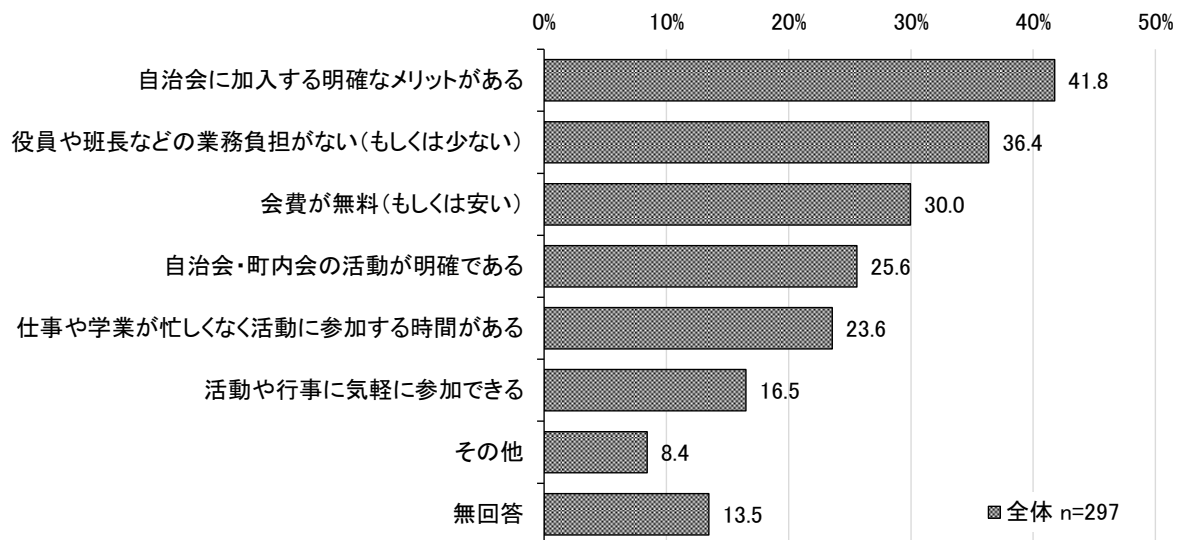
(15) 自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件

◇「自治会に加入する明確なメリットがある」が41.8%

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-3 あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件は何ですか。(いくつでも)

自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件については、「自治会に加入する明確なメリットがある」が41.8%で最も高く、次いで「役員や班長などの業務負担がない（もしくは少ない）」が36.4%、「会費が無料（もしくは安い）」が30.0%、「自治会・町内会の活動が明確である」が25.6%となっている。



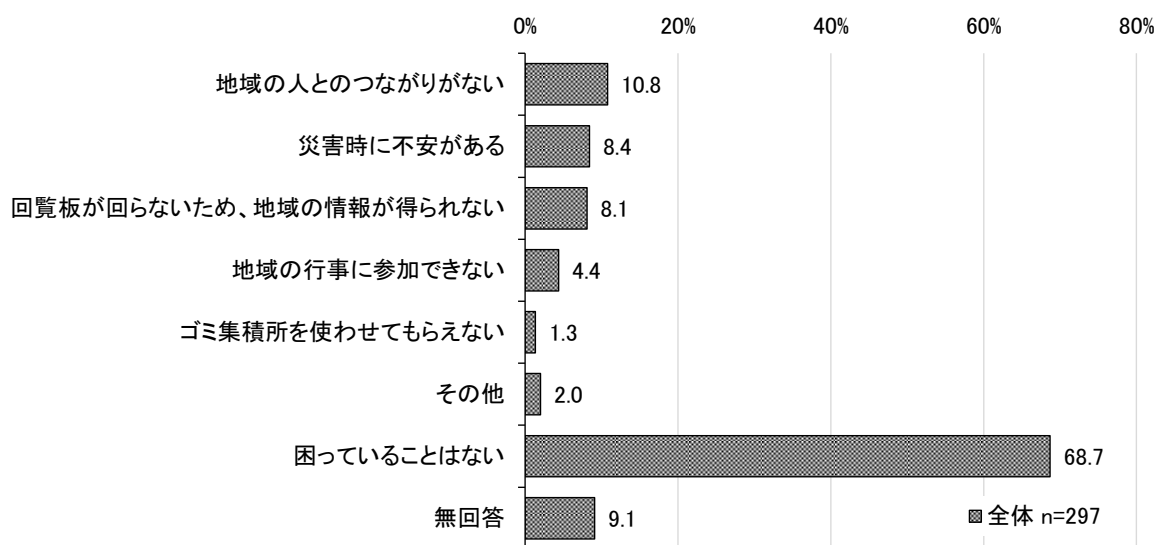
(16) 自治会に加入していないことで困っていること

◇「地域の人とのつながりがない」が10.8%

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-4 自治会に加入していないことで、困っていることは何ですか。(いくつでも)

自治会に加入していないことで困っていることについては、「地域の人とのつながりがない」が10.8%で最も高く、次いで「災害時に不安がある」が8.4%、「回覧板が回らないため、地域の情報が得られない」が8.1%、「地域の行事に参加できない」が4.4%となっている。なお、「困っていることはない」は68.7%となっている。

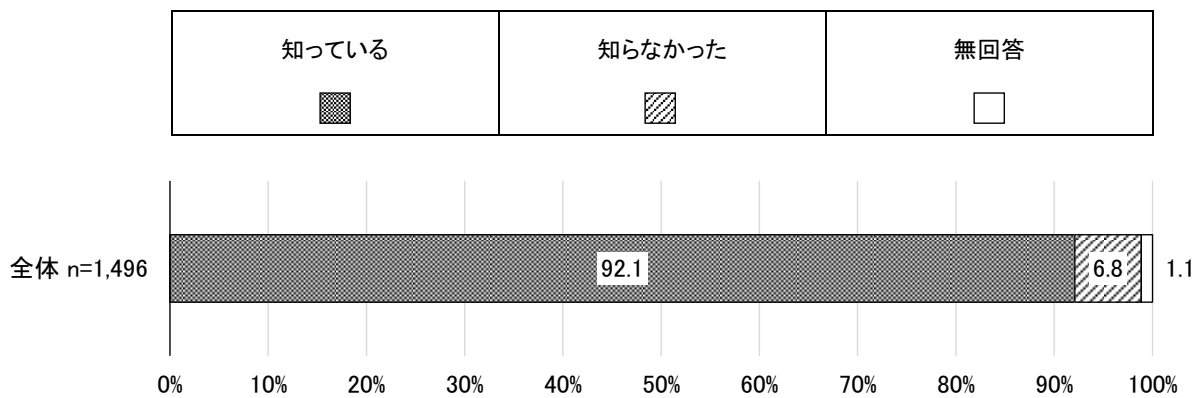


(17) 市民センター・連絡所での手続きの認知状況

◇「知っている」が92.1%

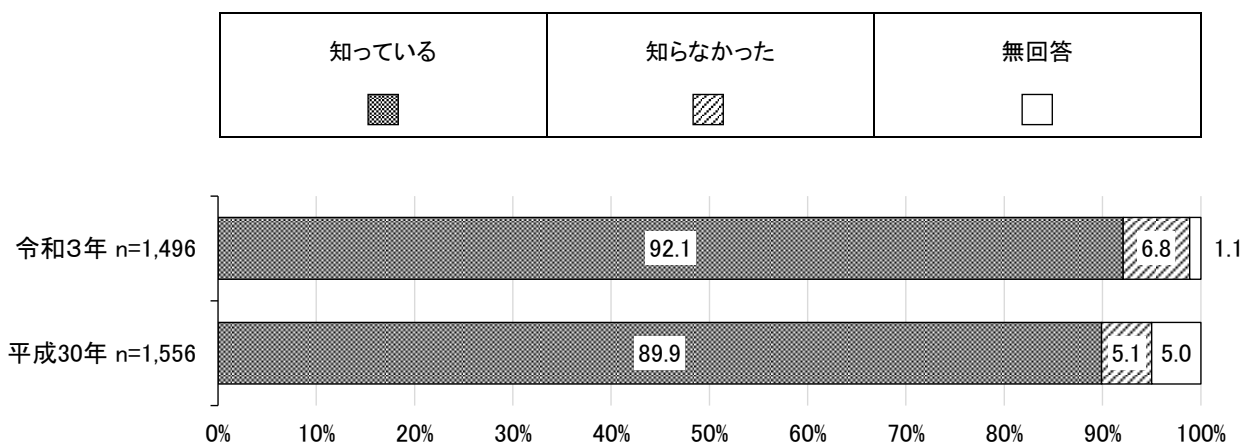
問 52 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更（転入・転出など）や戸籍の届出（婚姻・出生など）は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター（旧出張所）・川越駅西口連絡所（川越市民サービスステーション内）でも手続きができることをご存知ですか。（1つのみ）

市民センター・連絡所での手続きの認知状況については、「知っている」が92.1%、「知らなかった」が6.8%と、「知っている」が85.3ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「知っている」は前回調査より2.2ポイント増加している。

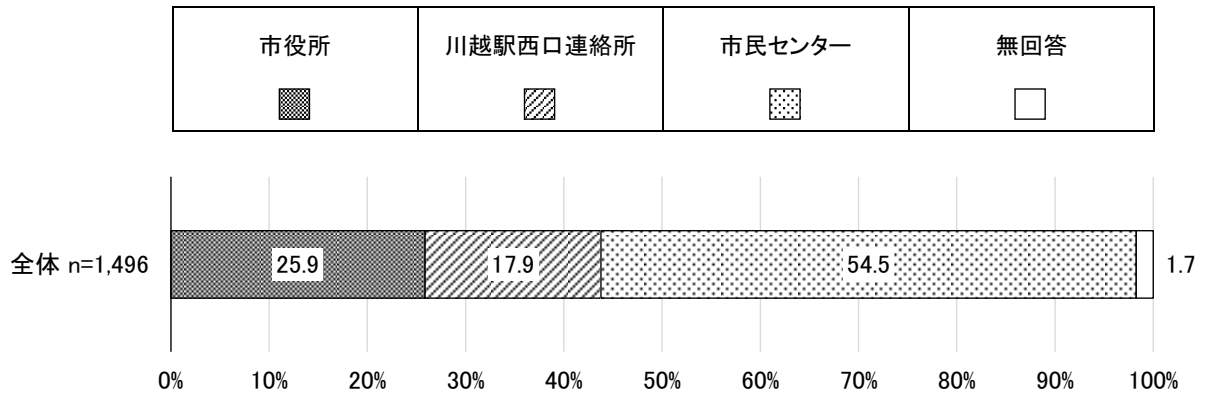


(18) 住民票等の取得手続きで利用している施設

◇「市民センター」が54.5%

**問 53 住民票や戸籍などの証明書の取得やお手続きをする場合、どこを利用されますか。
(1つのみ)**

住民票等の取得手続きで利用している施設については、「市民センター」が54.5%で最も高く、次いで「市役所」が25.9%、「川越駅西口連絡所」が17.9%となっている。



(19) 川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由

◇「市役所が一番近い」が55.8%

【問53で「市役所」と回答した方におたずねします。】

問53-1 川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由については、「市役所が一番近い」が55.8%で最も高く、次いで「手続きが一度で終わるか不安なため」が20.4%、「市役所より手続きに時間がかかるため」が3.1%、「地元の市民センター等では手続きをしたくない（知られたくない）ため」が1.0%となっている。なお、「特にない」は18.9%となっている。

